

センター行事メモ

●表彰関係

賞の種類：第8回久保亮五記念賞

受賞件名：「軌道秩序の理論」

受賞日：平成16年10月9日

受賞者：堀田 貴嗣（多体電子系理論研究グループ）

賞の種類：2004年日本放射化学会賞

受賞件名：「ラザホージウム等の核化学研究における新展開」

受賞日：平成16年10月28日

受賞者：永目 論一郎（重元素単一原子化学研究グループ）

賞の種類：日本表面科学会技術賞

受賞件名：「Top Most Surface Studies by Total Reflection Position Diffraction」

受賞日：平成16年11月8日

受賞者：河裾 厚男（陽電子ビーム表面研究グループ）他4名

●外国人研究者招聘

年月日	招聘者	招聘目的
16. 6. 1 ~ 17. 4. 1	Dr. Vasily I. Lavrentiev ウクライナ科学アカデミー応用物理研究所	ビーム照射による機能性新物質状態のデザインに関する研究
16. 9. 10 ~ 9. 17	Dr. Jean-Christophe Griveau ヨーロッパ超ウラン元素研究所	超ウラン化合物の磁性と超伝導の研究に関する討論
16. 9. 21 ~ 9. 22	Dr. Aldo Bonasera イタリア国立原子核物理研究所南部国立研究所	多体ハドロン系理論研究グループとの討論
16. 9. 21 ~ 9. 22	Prof. Umberto Lombardo イタリア カタニア大学	多体ハドロン系理論研究グループとの討論
16. 10. 3 ~ 11. 1	Dr. Eddy Lelievre-Berna フランス ラウエ・ランジェヴァン研究所	CRYOPADUMの制御用ソフトウェアの開発とテスト実験
16. 10. 4 ~ 12. 3	Dr. Radu A. Gherghescu ルーマニア ホリアフルベイ国立物理及び原子力研究所	核分裂や重核の壊変に関する理論研究
16. 11. 3 ~ 11. 18	Dr. Arokiasamy J. Francis アメリカ ブルックヘブン国立研究所	ASR2004へ参加及び重元素マイクロバイオリジー研究に関する研究討論
16. 11. 8 ~ 11. 20	Dr. Efrem S. Soukhovitski ベラルーシ エネルギー及び原子力共同研究所	ISTCプロジェクトの研究結果及び今後の予定について議論
16. 11. 12 ~ 11. 20	Dr. Robert H. Heffner アメリカ ロスアラモス国立研究所	ミュオン科学研究に関する議論
16. 11. 14 ~ 11. 17	Prof. Gregory R. Choppin アメリカ フロリダ州立大学	ASR2004への参加及びアクチノイドと微生物に関する研究討論
16. 11. 14 ~ 11. 17	Prof. Linfeng Rao アメリカ ローレンスバークレイ国立研究所	ASR2004への参加及びアクチノイドと微生物に関する研究討論
16. 11. 14 ~ 11. 17	Prof. Karsten Pedersen スウェーデン イェーテボリ大学	ASR2004への参加及びアクチノイドと微生物に関する研究討論
16. 11. 14 ~ 11. 17	Dr. Yifeng Wang アメリカ サンディア国立研究所	ASR2004への参加及びアクチノイドと微生物に関する研究討論

年月日	招 聘 者	招 聘 目 的
16. 11. 14 ~ 11. 18	Prof. Jonathan R. Lloyd イギリス マンチェスター大学	ASR2004 への参加及びアクチノイドと微生物に関する研究討論
16. 11. 14 ~ 11. 18	Prof. Terrance J. Beveridge カナダ ゲルフ大学	ASR2004 への参加及びアクチノイドと微生物に関する研究討論
16. 11. 14 ~ 11. 18	Prof. Danielle Fortine カナダ オタワ大学	ASR2004 への参加及びアクチノイドと微生物に関する研究討論
16. 12. 5 ~ 12. 11	Dr. Gerard H. Lander ヨーロッパ超ウラン元素研究所	アクチノイド化合物の中性子散乱実験に関する研究討論
16. 12. 8 ~ 12. 11	Dr. Frank H. Wastin 欧州共同研究センター 超ウラン元素研究所	原研-超ウラン元素研究所-フランス原子力庁間の国際協力について打合せ

●基礎科学セミナー

回	年月日	講 演 者	開 催 テ ー マ
276	16. 9. 21	Umberto Lombardo (カタニア大学)	Equation of State for Nuclear Matter with Applications in Nuclear Physics and Astrophysics.
277	16. 10. 13	Eddy Lelievre-Berna (ラウエ・ランジュヴァン研究所)	Spherical Neutron Polarimetry Applied to Magnetism and Fundamental Physics.
278	16. 11. 25	播磨 尚朝 他 (神戸大学)	多極子の物理
279	16. 10. 19	和田 隆宏 他 (甲南大学)	核融合過程におけるネック生成の影響 他
280	16. 12. 2 ~12. 3	百瀬 孝昌 他 (京都大学)	量子凝縮相中の原子・分子・イオンの物理化学挙動に関する研究会
281	16. 11. 8	Bruce D. Gaulin (マックマスター大学)	Frustration and Satisfaction in Triangular and Tetrahedral Magnets.
282	16. 11. 26	S. -H. Lee(NIST)、Y. S. Lee(MIT) 他	フラストレーション系の物理
283	16. 12. 7	Gerard H. Lander (ヨーロッパ超ウラン元素研究所)	The Actinide Elements from Pa to Cm: A Personal Review of Their Properties.
284	16. 12. 10	Franck Wastin (ヨーロッパ超ウラン元素研究所)	Tuning of the Magnetic and Superconducting Properties in the AnTGa ₅ Series of Compounds.
285	16. 12. 22	木村 幸恵 (イタリア INFN-LNS)	Fusion Enhancement by Screening of Bound Electrons at Astrophysical Energies.